

北海道の気候が 育む胡蝶蘭

毎年4月に、赤平市で開催される「らんフェスタ赤平」特別協賛として参加している赤平オーキッド株式会社では、胡蝶蘭を大量生産し、全道に向けて出荷しています。南国原産の胡蝶蘭ですが、北海道の気候は生育に意外と適しているといえます。

暖かさだけでなく 涼しさも必要な胡蝶蘭

大きくうねった空知川に囲まれた田園地帯の真ん中に、赤平オーキッドがあります。凍える寒さの屋外とは裏腹に、12棟のハウス内では初夏のような暖かさが感じられます。北は台湾、南はパプアニューギニアなどの赤道付近で自生する胡蝶蘭。熱帯地域に比べて温度はやや低いものの、ハウス内では胡蝶蘭が花を咲かせていま

す。

赤平オーキッドでは、ある程度の大きさまで生育された苗を台湾から輸入。その後、約6カ月かけて開花させて寄せ植えし、製品として出荷しています。

「25℃以上の部屋で育てられた苗を台湾から輸入した後、約21℃に保ったハウスで育てています。そうすると30〜40日くらいで花芽をつけます。植物は暖かいところから涼しいところに来ると、「子孫を残さなきゃ」と危機を感じる

んです」と話すのは、赤平オーキッド培養生産部育苗課・課長の鈴木寛人さん。

慶事などに贈られることが多い胡蝶蘭。一年を通して需要があるものの、5月の母の日や12月のお歳暮シーズンのほか、年度末には出荷量が増加します。

出荷に合わせて開花させるために、最も気を配るのが生育管理。水や気温はもちろん、バランスよく花を咲かせるように、生長に合わせて花芽を誘引しています。「花



培養生産部 育苗課 課長 鈴木寛人さん

つあるまちを明るい花のまちにしよう」と赤平市が平成6年に振興公社を設立します。胡蝶蘭の生産に乗り出しますが、次第に経営が悪化。平成20年、全国に約265店のホームセンターを展開する「DCMホームマック株式会社」のグループ企業として赤平オーキッドが経営を引き継ぎます。

事業立て直しのために着目したのは出荷先でした。「常に価格が変動する市場から、価格が一定な生花店や道内のホームマックへと出荷先を変えました。生花店に販路を広げるのは大変でしたが、安定供給や品質を評価いただけたことで、直接販売できる生花店が増えていきました」と培養生産部長の市川裕章さんは話します。

胡蝶蘭は輸送する際も温度管理を必要とするため、冬場になると、



取締役 培養生産部 部長 市川裕章さん

旭川や札幌など近隣エリアにしか運べないことがネックでした。販路を拡大するために用いたのが、ホームマックが所有する温度調節付きのトラック。ホームマックが店舗を構える地域であれば、一年を通して全道へ搬送することが可能になりました。

ホームマックでは、胡蝶蘭の植え替えの方法や育て方などの講習を実施。一般家庭でも飾りやすいようにと、小さくて低価格な商品の出荷も増やし、身近に胡蝶蘭を楽しんでもらう工夫を取り入れています。「胡蝶蘭は暑いと花芽が出にくく、寒いと枯れてしまうこともある。暖房機能を備えた北海道の家は冬でも暖かいので、胡蝶蘭を育てるのに適しているんです」と市川さんは微笑みま

高品質で管理しやすい 苗を作るバイオ技術

赤平オーキッドでは、苗作りにバイオテクノロジーを採用しています。胚乳と呼ばれる栄養分を



持っている胡蝶蘭は、菌からの栄養分を得なければ発芽できないことから、商業的に増やすことが難しい植物です。バイオ技術を用いることで、フラスコの中で発芽から苗までに生育。育った中から、病気に強いなどの優良な株の細胞を採取し、クローン苗として増やしています。クローン苗は、花の色や形状のほか、育ち方や耐病性なども同一。管理がしやすく高品質な商品を安定供給できることから、バイオテクノロジー技術は大量生産のために欠かせません。

命ある植物相手の仕事は、計画通りにいくとは限りません。「まだ開花して欲しくないのに咲きそうになつてくると『咲くなよ、咲くなよ』って祈ったり、咲いちゃう夢を見たり(笑)。どうしてもほ

365日、ハウスのどこかでかならず胡蝶蘭が咲いている赤平オーキッド。手にした人が喜び笑顔になれる胡蝶蘭を作り続けています。

胡蝶蘭を育てるコツ

一度たっぷり水をあげたら、土が乾くまで放っておく。(目安として月に2〜3回)

失敗しがちなのが水の管理。水をあげすぎると葉っぱにしわが寄り、水が足りないように見えますが、これが水のやり過ぎによる根腐れの証拠。鉢の表面だけでなく、中が乾いてから水をあげましょう。胡蝶蘭は上手に育てると毎年1回花を咲かせて約15年の寿命があるそうです。

直接販売を増やし 全道へ供給できる態勢に

「炭鉱が閉山して寂しくなりつ



「いくら太陽に向かうものだっていっても、やっぱり生き物だから中には違う方を向いてしまうものもあります。何年やっても油断はできません。務めて10年以上のベテランでも誘引には気をつかうそうです」



直売所 赤平オーキッド

赤平市百戸町西6丁目26番地
TEL 0125-32-6331
営業時間/9:00~17:00
定休日/年末年始

手頃なアウトレット商品も販売。
ハウスの見学もできます。

